

# 豚とふれ合い、 豚を学んで、豚を味わう ——「三河トコトン豚祭り」

—養豚農家らで組織する「三河トコ豚極め隊」が食育とPRを狙いに初めて企画—



豚とふれ合い、豚を学んで、豚を味わう——「三河トコトン豚祭り」が3月24日、愛知県豊橋市の公共施設「こども未来館ここにこ」で開催され、3000人以上の市民らで賑わった。愛知県東三河地域の養豚家6人と飼料メーカー、流通などの関連事業者で組織する「三河トコ豚極め隊（とことんきわめたい）」（代表：鈴木美仁・㈱G・ファーム社長）が、食育と地元産豚肉のPRなどを目指して初めて企画したもの。

同豚祭りでは、子豚とのふれ合い、豚肉の解体体験とその豚肉を使った料理教室、手作りソーセージの体験、「三河トコ豚極

め隊」が愛知県豊根村の廃校で試作した生ハムの試食（1年半熟成）、豚の交配から誕生・出荷・食卓まで命をいただく事の大切さを考えるビデオ上映、地元の豚肉料理の屋台など、ふれ合い、楽しんで、豚について体験しながら知ってもらう多彩なイベントが繰り広げられた。

「三河トコ豚極め隊」は2010年春に結成され、各種イベントに参加して試食・販売を通じて豚肉のPRを行う一方、メンバー全員で養豚農家それぞれのブランド豚肉を素材にしたオリジナル加工品の商品開発にも取り組む。メンバーは6人の養豚農家の



▲豚肉のカットングを見入る子どもたち



▼カットング後に、ロース、バラ、カタロースを焼肉にして食べ比べを行った



▲手作りソーセージ教室。まず、先生役がデモンストラーション



▲ケーシングに充てんする親子連れの参加者